



STAGE

Special Track for Accelerated Global Education

2024年4月 誕生 設置構想中

甲南大学グローバル教養学位プログラム

8学部に加え、新たな学位プログラムが始動

世界基準で考え社会の第一線で活躍する人物を育成する新たなグローバルな学びのSTAGE

これまで「世界に通用する人物」を育成するためグローバル教育に力を入れてきた甲南大学に、2024年度より、新たな学位プログラム「グローバル教養学位プログラム」(略称:STAGE)が誕生します。

学びたい意欲を後押しするグローバル教育の歴史

▼ 本学のグローバル教育の歴史は1976(昭和51)年の「甲南・イリノイセンター」開設にさかのぼります。同センターは「国際交流センター」となり、1994(平成6)年に開設された「国際言語文化センター」とともにグローバル教育を推進してきました。2015(平成27)年からはグローバル人材の育成を目的に、すべての学生がグローバル教育を受けられる「融合型グローバル教育」の推進を掲げ、海外大学との国際交流協定・留学プログラムの開発などを行ってきました。コロナ禍においてもオンライン留学や新たな制度を設け、世界とつながり学びたい学生の意欲を後押し。さらに魅力あるグローバル教育の実現に向け、STAGEの設置を進めています。

「STAGE」の概念



STAGEとは「グローバル教養学位プログラム」の英語名称「Special Track for Accelerated Global Education」の略称です。

社会の第一線で活躍するグローバル人材を育成

▼ STAGEは文部科学省が定める「学部等連携課程制度」を活用。グローバルキャリアを志す学生のために世界を熟知する教員陣が特別な学位プログラムとして展開します。予測困難といわれる時代、多様な価値観が錯綜するグローバル社会で活躍するためには、①文化や言語

グローバル教養学位プログラム STAGEの4つの特徴

仲間と切磋琢磨し、グローバル人材へ

- 1 複数の言語圏へのダブル留学
- 2 入学から卒業までSTAGEのゼミ
- 3 社会科学、国際理解データサイエンス・AI等幅広い学び
- 4 企業・行政等連携によるグローバル実践PBL

豊富なプログラムから複数の言語圏へ留学し学ぶ

▼ の壁を越えて人々と協働するための言語運用力と異文化調整力②新たな価値創造や課題解決を行うための政策・企画立案力③データサイエンス・AI、ICTの活用などを含めた文理横断的な知識と技能を身につけ、グローバル人材として社会に出ることが必要です。そのため、STAGEでは欧米やアジア圏への留学を組み合わせ、2か国以上で学ぶ複数言語圏への「ダブル留学」を卒業の要件の一つとする。同時に「複数言語の運用力」を強化し、「社会科学(経済・法・政治・経営)」「グローバル実践PBL(問題解決型学習)」「データサイエンス・AI等」を適切に組み合わせる学びます。文化や言語の壁を越えて世界の人々と協働し、さまざまな課題解決に世界基準で考えて取り組むグローバル人材として、キャリアを切り拓き、社会の第一線で活躍する人物を育成します。

▼ STAGEでは、複数言語圏への「ダブル留学」を卒業の要件として、異なる言語圏での留学や生活を体験し、異文化に対する思考を養います。中・長期留学、短期留学ともに複数のプログラムから選択でき、費用の免除や減免制度も設定、留学期間を含めて4年間での卒業が可能で、大学在籍中に複数の外国語によるコミュニケーション能力を高め、留学によって現地の生活空間に身を置くことで、世界の人々と意思疎通を図り、異文化に触れる経験することは重要です。「ダブル留学」を通して異文化を単に比較し相違点に気づくだけでなく、異なる文化背景をもった人々や社会に対する寛容性と価値観の違いに起因するさまざまな問題解決のための能力を育てます。

オンラインを活用し留学中も現地でゼミに参加

▼ 初年次から卒業時まで少人数クラスでのゼミを必修科目としています。1学年25名と少人数でありながら、11名の専任教員がアカデミックアドバイザーとして、チーム体制で指導にあたります。ゼミでは世界のグローバルトピックスに目を向け、情報を収集し、要点をまとめて発表、意見交換などを繰り返し行います。学生のうちから世界のニュースや新聞に目を通し、考察する習慣を身につけます。中・長期留学をしている間も、オンラインを活用してゼミに参加します。留学先で得たものをアウトプットし共有することなど、国内外でゼミに参加する学生がお互いに刺激し合い、仲間と切磋琢磨して学べる環境を用意していきます。

幅広い知識・経験を得る

▼ 経済学、法学・政治学、経営学の幅広い知識は、課題解決につなげる政策の企画・策定に関わる上で必要です。また、グローバルに活躍するためには、世界が直面している課題を学び国際社会を理解することも重要です。キャリアプランの実現に向けて、社会科学・国際理解を幅広く学びます。そのほか、統計・データサイエンス・AIなどを活用して、地域課題の解決ができる人材になる素養を身につけることを目標に、リテラシーから応用基礎レベル相当までを学習します。さらに、情報倫理やセキュリティ問題について必要な知識を得る科目も配置。留学での経験や社会科学の知識、データサイエンス・AI活用を生かし、地域が抱える課題解決に取り組めます。

ダブル留学

短期留学 × 中・長期留学

豊富な選択肢から複数の言語圏で学ぶ

欧米やアジア圏の名門大学等が留学先

留学中のサポートや奨学金など支援も充実

充実したゼミ指導の体制

1学年 学生 25名

教員 11名

涵養する能力

- 1 文化や言語の壁を越えて人々と協働するための言語運用力と異文化調整力
- 2 新たな価値創造や課題解決を行うための政策・企画立案力
- 3 データサイエンス・AI、ICTの活用などを含めた文理横断的な知識と技能

| | |
|-------|-------------|
| 学位 | 学士(グローバル教養) |
| キャンパス | 岡本キャンパス |
| 入学定員 | 25人 |
| 収容定員 | 100人 |